



パッションフルーツによる
“緑のカーテン”で
地球温暖化対策に貢献！

I am a leader

学内の女子学生同士の交流も視野に活動。

パッションフルーツパーティ (P.F.P) は、女子学生をメンバーとして活動する環境系のプロジェクトチームです。プロジェクト名にある南国の果物のパッションフルーツを用いて、主に緑のカーテンの普及啓蒙活動を行っています。緑のカーテンとは、窓の外や壁に張ったネットなどに植物を這わせて陽射しを遮り、室内温度を下げようという取り組み。私たちは、この活動によって多くの人に地球温暖化対策の必要性を認識して頂き、実際に参加してもらいたいと考えています。またこの活動を通じて、異なるコース・学年の女子学生同士の交流を活性化させることも目的の一つです。

昨年は、図書館のエントランスに緑のカーテンを設置しました。2021年も図書館や学食のエントランスに緑のカーテンを取り付けようと考えています。また、冬場の苗木育成なども大事な仕事ですが、今後、私たちが育てた苗木を近隣の小・中学校の児童や生徒たちに配り、育ててもらおう計画も頭の中に描いています。

私は将来、食品分野の仕事、あるいは農作物の品種改良などに関わる仕事に就きたいと思っています。この活動とは直接関係はありませんが、就職後も自宅に緑のカーテンを設置したり、また周囲の人にも勧めたりして、地球温暖化対策に少しでも貢献できればいいですね。



生命環境工学コース3年
堀江 菜理
長崎県立対馬高等学校出身

高校時代から環境分野に興味を持っていたことから、食品衛生管理者の資格取得を目指して本学に入学。このプロジェクトチームへは、コースの蒲原先生の勧めや先輩の勧誘をきっかけに、楽しい学生生活を送るための友達づくりも考えて参加を決めた。



上) 8号館4階のミーティングルームで、栽培しているパッションフルーツ。挿し木して苗を作り、夏に向けて育成していく。夏前に、鉢に植え替えてエントランスや窓の下に配置する。

下) 図書館エントランスに設置した緑のカーテン、そして南国植物らしいパッションフルーツの花。緑のカーテンは、2021年も図書館や学食エントランスに設置される。